

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
生活	<p>2・東書</p> <p>新編 新しい 生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分と身近な人々、社会及び自然との具体的な関わりを通して、自立への基礎を養うことができるような単元の配列になっている。例えば、2年間を通して学校からまちへ活動の場を広げる、図工や国語などとの合科的な指導を行うなど、地域及び他教科との関連を図っている。また挿絵の児童が成長する姿を自分と重ね合わせることにより、自立する自分を実感できる。 ○ 「すたーとぶっく」を上巻の最初に独立して設け、スタートカリキュラムの事例を提示し、幼児教育との円滑なつながりを図っている。 ○ 活動のねらいを質問の形で各ページに提示することにより、学習活動の見通しをもつことができる。さらに活動や活動後の発表会の写真、振り返りカードを効果的に提示することにより、児童の思考を深め、気付きの質を高めることができる。 ○ 巻末にある「べんりてちょう」や「ポケットずかん」は資料が豊富で、見やすく分かりやすい。生活上必要な習慣や技能が身に付き、様々な学習活動で活用できる。 ○ 今日的な課題に対応するため、様々な家庭の事情を抱える児童の成育歴に配慮する部分が多く、児童が安心して活動に取り組めるようになっている。 ○ 学習指導要領に付け加えられた「公共物や公共施設の利用」を考慮した単元が導入されている。